

5704-0301 バット重量調整プラグ

取扱説明書

シャフトバットエンドに装填して重量調整を行うプラグ

スチールとカーボン、どちらのシャフトにも対応するカウンターバランスウェイトプラグです。専用の鉛ウェイト(別売品: 5704-0302 バット重量調整プラグ用鉛ウェイト)を内部に装填して調整します。鉛ウェイトに備えられた鍔(つば)と、プラグ内部の細かな突起が噛み合うことで、ウェイトをそのまま装填しても音鳴りや位置変化が起こりにくい設計です。

- ・プラグ外周に配されたフィンの高さを研磨等で調整することにより、シャフト内径 11.0~14.4mmまで対応。(シャフト内径が太い場合はグリップテープ等で調整も可能)
- ・鉛ウェイトは5pcsまでそのまま装填可能、6pcs使用する場合は、1pcの長さを調整して装填、最大ウェイト総重量約33g
- ・本体重量: 5.1g、キャップ重量: 0.2g、本体長さ: 101mm
- ・本体+鉛5.5個で、合計約38.3gのカウンターバランスウェイトの追加が可能。
- ・1~4個程度の鉛装填時、装填位置を調整することでカウンターバランスの利きを微調整可能。



別売品

5704-0302
バット重量調整プラグ用
鉛ウェイト(6pcsセット)



【注意事項】

- ・装着後、3.18mm(1/8インチ)程度の鍔部分がバットエンドに残りますので、シャフト長をあらかじめ調整して下さい。
- ・シャフト挿入時は、シャフト内径に応じて、プラグ外周のフィンを研磨、調整して下さい。ただし、内径14mm以上であれば、そのまま挿入可能です。
- ・フィンを研磨し過ぎた場合を除いて、シャフトとの接着は基本的に不要です。
- ・鉛ウェイトのプラグ装填時も接着不要ですが、一旦入れると抜き取りは困難ですので、ご注意ください。
- ・鉛ウェイト装填時は、向きに注意して下さい。小さな鍔のある側がエンドキャップ側になるように装填します。
- ・6pcs使用の場合に、1pcの長さを調整する場合は、鍔の無い側を研磨して下さい。
- ・内部での音鳴り、遊びを心配される場合は、接着剤を少量、鉛に塗布して下さい。

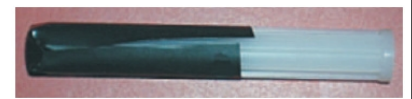


【使用方法】

■プラグ外径の調整

シャフトの内径にあわせて、プラグ外径を調整します。スチールシャフトで、プラグよりもシャフト内径が大きい場合は、両面テープ等をプラグに巻きつけて、外周を調整して下さい。逆にプラグ外径が大きすぎる場合は、フィンをカッターナイフやサンドペーパー、サンディングマシンで削り、調整して下さい。サンディングマシンは容易に切削できますが、プラグの材質との兼ね合いから、毛羽立ち易いため、ある程度マシンで削った後は、カッターやサンドペーパーで仕上げして下さい。

シャフト内径が大きい場合、テープ等で調整して下さい。

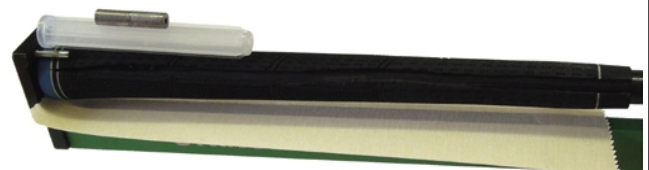


シャフト内径が小さい場合、削って調整して下さい。



■ウェイト装填位置の調整

装填するウェイトの数量、位置を決定します。一旦、プラグにウェイトを装填すると、抜き取ることは困難なため、プラグとウェイトをバランス計や、MOIスケールに仮置きしたり、シャフトに直接貼り付ける等して、目的のバランスやMOIに調整します。ウェイトは5pcsまで、そのまま装填可能ですが、6pcs使用する場合は、ウェイトの長さを調整してから装填して下さい。この時、必ず、鉛ウェイトの鍔がある側を残して下さい。プラグ内での鉛ウェイトの位置によっても、微調整が可能です。詳しくは、次ページの『ウェイト装填方法』と、『ドライバー、アイアの調整例』を参考にして下さい。



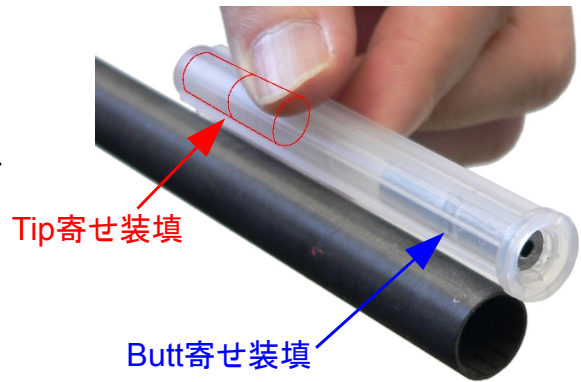
上図のように、プラグ、ウェイトを仮置きして、最適なウェイト数量・位置を探して下さい。図では、実際に利用するグリップと同重量の切断したグリップを仮装着し、グリップテープも使用量を載せています。グリップ仮装着の際は、プラグ装填後、クラブ長さが約1/8インチ長くなる点にも、ご注意ください。

■ウェイトの装填方法

ウェイトの数量だけでなく、装填位置によっても、スイングウェイトを微調整することが可能です。

通常は、Butt寄せ装填ですが、マイナスドライバー等を使用してウェイトを押し込むことで、同数のウェイトでも、より弱いカウンターバランスのTip寄せ装填となります。

状況に応じて、使い分けて頂けますが、一旦装填したウェイトを取り出す、またはButt方向に戻すことは困難ですので、事前にウェイト位置を確認した上で装填して下さい。



ドライバー 調整例

	調整前	プラグのみ	Butt寄せ					Tip寄せ					
クラブ長	45 3/8	45 4/8											
ウェイト数		0pc	1pc	2pcs	3pcs	4pcs	5pcs	5.5pcs	5pcs	4pcs	3pcs	2pcs	1pc
S.W	D1.6	D1.2	C9.5	C7.8	C6.3	C5	C3.9	C3.1	C3.9	C5.3	C6.9	C8.5	D0.2
クラブ重量	315.9	320.7	326.8	332.7	338.7	344.7	350.7	354.2	350.6	344.7	338.7	332.7	326.7
比較対象		対調整前	対プラグのみ	対1pc	対2pcs	対3pcs	対4pcs	対5pcs	対4pcs	対3pcs	対2pcs	対1pc	対プラグのみ
S.W差		-0.4	-1.7	-1.7	-1.5	-1.3	-1.1	-0.8	-1.4	-1.6	-1.6	-1.7	-1
重量差		4.8	10.9	16.8	22.8	28.8	34.8	38.3	34.7	28.8	22.8	16.8	10.8

アイアン(#6) 調整例

	調整前	プラグのみ	Butt寄せ					Tip寄せ					
クラブ長	38 2/8	38 3/8											
ウェイト数		0pc	1pc	2pcs	3pcs	4pcs	5pcs	5.5pcs	5pcs	4pcs	3pcs	2pcs	1pc
S.W	D0.2	C9.8	C8.2	C6.7	C5.2	C3.9	C2.9	C2.2	C2.9	C4.4	C5.9	C7.5	C8.8
クラブ重量	396.3	401.1	407.2	413.1	419.1	425.2	431.1	434.8	431.1	425.2	419.1	413.1	407.2
比較対象		対調整前	対プラグのみ	対1pc	対2pcs	対3pcs	対4pcs	対5pcs	対4pcs	対3pcs	対2pcs	対1pc	対プラグのみ
S.W差		-0.4	-1.5	-1.5	-1.5	-1.2	-1	-0.7	-1.5	-1.5	-1.6	-1.3	-1
重量差		4.8	10.9	16.8	22.8	28.9	34.8	38.5	34.8	28.9	22.8	16.8	10.9

■ウェイトの装填(Butt装填例)

ウェイトの数量、位置等が決まったら、プラグをシャフトに装填する前にウェイトを装填します。図1、図2のように、1pcずつ、押し込んで装填していきます。最後にキャップで蓋をします(図3)。

■プラグの装填

プラグ開口部のフランジがシャフトバット端にぴったり当たるところまで、プラグを装填します(図4)。装填後、ガタつきが無いことを確認して下さい。グリップを装着して完成です。

